

京都教区時報

Home Page <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/>

P. 7 MISAS EN : ENGLISH, PORTUGUES, ESPAÑOL

3頁 福音宣教の視点での取り組み

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
編集用 TEL・FAX
077-527-6800
(滝野)

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込み
TEL・FAX 0794-31-8601



(写真は福音センター主催の結婚講座の同窓会の時のものです。)

◆設問を通して今後を見れば
(1)教会主体のボランティア活動に、一般の人々の参加を呼びかける。
また一般のボランティア活動や市民運動に参加する。
(2)教会の施設を一般の人にも利用してもらえるよう、受け入れ体制を考える。

◆設問を通して今後を見れば
(1)教会主体のボランティア活動に、一般の人々の参加を呼びかける。
また一般のボランティア活動や市民運動に参加する。
(2)教会の施設を一般の人にも利用してもらえるよう、受け入れ体制を考える。

◆設問11(旧京都教区宣教司牧評議会で実施したアンケート)
カトリック者以外の人々とのつながり
第一回NICE(福音宣教推進全国会議)では、「社会に開かれた教会」ということが、話し合われました。このことは、信者(司祭・修道者も含む)が社会の中にあって、他の人々とのつながりを深め、大切にすることを通して、日々の生活の中で福音宣教することを表しています。ところではなたは、どのような人々とのつながりを大切にしておられますか。

社会に開かれた教会

7
1999

結婚講座

よりよき宣教共同体となるために (2)

福音センター主催の結婚講座は

結婚生活の原点であるように思います。そのためにもこの結婚講座が役立つものであればと願っています。

十三回目のシリーズが始まっています。教区より要請されて始ま

ります。プロограмの概要是、以下によ

うな内容です。

◆旧約聖書の創世記を読みながら、男と女はどのように造られたか、人の生きる根源は何なのかを考える『人間の創造』(島本須美子氏)。

◆長年の産婦人科医の経験から、人間の身体について医学的側面からお話しいただき、「かけがえのない命」を持った「性」のあり方を考える『幸せな良き結婚のために』(岡村裕医師)。

◆『夫婦の対話』と題して、共に生きて行くため、夫婦の対話の大切さを考えながら女性、男性に分かれ、不安や疑問をグループで分かち合います(斎藤洋子氏)。

◆結婚式の式次第を使い、祈りの言葉や誓いの言葉の意味を説明していました。また、結婚式とは何か、神の前で二人は何を誓うのかなど、教会の結婚観を紹介する『愛の契約と夫婦の絆』(大塚喜直司教)。

◆カウンセラーとしての豊かな経験によるお話『男・女・性、結婚

という人生を生きる』。いろいろなケースを紹介しながら、特に男女の違い、性の在り方の違いから結婚という人生をどう生きていらかを考えます(シスター石崎保子)。

創世記のお話は、初めて聖書に触れた人が多いなかで、男にとつて必要な助け手としての女が造られたこと、それを神は良しとされたことなどに興味深げに耳を傾けておられます。

また、岡村先生は、人間のからだ、特に女性の身体のしくみについて、男性の理解を求めて熱くお話しになっています。先生は個人的にも快く相談にのってくれたり、結婚後に先生を訪ねられる方もあるようです。

男性、女性グループでの分かち合いでは、その回ごとにさまざま盛り上がりを見せています。お互い知らない者同士ではあります。お互いに同じテーマを抱えていたものとして話がはずんでいるようですが、結婚という人生

が誓う言葉の意味、重みを味わいながら、一つ一つ丁寧なお話をされています。ただ形式的に行われる儀式ではなく、その動きや言葉一つ一つをかみしめながら、約束する(誓う)ことの意味とそこにある絆の大切さを訴えておられます。

最後のシスターのお話は、いろいろなケースの紹介を通じて、ほんの小さな出来事や、お互いの価値観や環境の違いが産み出す問題に焦点を当てておられます。決して甘く、楽しいお話ではありませんが、とても具体的で、先に述べたようにそれぞれ問題や不安をかかえている人がいるだけに、皆さん真剣に聞き入っておられます。

一九九三年九月から始まり、この六年間で約四百名の方が参加されました。皆さん幸せな結婚生活を送られ、いいお母さんお父さんになっている方も大勢おられるでしょう。しかし、結婚という人生の中でいろんな苦難に直面している方もおられるのではないでしょう。そんな時、結婚講座で聴いたこと、考えたことを思い出して下さればと思います。

力のためだけではなく、結婚式を通して初めて教会に出会った人々へ福音宣教という役割を担ってい

ると思います。また、結婚生活を始めるとはどういうことなのか、真剣に考える時間を持つためにも、とても良い機会と時間を提供しているとおもいます。

参加者の中には、いろいろな問題や、不安を抱えている人も少なくてありません。宗教の違い、経済のこと、互いの両親との関係(特に夫の両親)、子供を持つことについて、仕事と家事の両立、また結婚と同時に自分の仕事をやめなくてはならない女性、ただ嬉しいだけでなく、結婚すると決めたときから、いろいろな問題に直面し互いに不安を抱いています。

しながら、二人でその日に向かって準備を進めることそのものが、

◆カウンセラーとしての豊かな経験によるお話『男・女・性、結婚

大塚司教の結婚式の式次第を使っ

福音宣教の視点での取り組み

洛星中学・高等学校

洛星中学・高等学校は、聖ヴィートール修道会が設立母体となっています。カトリック男子校です。京都市の西北部、衣笠山の麓に近く、カトリック衣笠教会の小教区内にあり、また近くに聖ヨゼフ修道院、聖ヨゼフ整肢園、聖マリア養護学校、カルメル会お告げの聖母修道院、京都聖嬰会、カトリック衣笠墓苑があります。

一九五二年四月に第一期生が中学校に入学し、学校として今年四十八年目を迎えました。今年の三月で、洛星高等学校的卒業生は八千五百名をこえました。現在、中学生が五百四十名、高校生が八十名、合計一千三百五十名が在学しております。

私達の社会においては、人が生活し、活動するところでは、家庭であれ、役所であれ、会社であれ、必ずゴミが出てきます。学校でも例外ではありません。掃除をした後のゴミ箱の中の、ホコリや綿くずや、紙屑、また事務関係の書類、教材プリント、古新聞や雑誌、段ボール、瓶、空き缶、古い机や椅子、テレビ、電気冷蔵庫などの電子機器、

化製品というような大型ゴミ、と いうようにありとあらゆるゴミが出てきます。それに加えて食物を調理する時に必ず出てくる生ゴミもあります。これらのゴミは人間の活動が盛んになればなる程増えます。これらのゴミは、それぞれの自治体が回収し、まとめて処理をしていますが、増え続けるゴミの処理が非常に難しくなってきています。それによってクリーンに保たなければならぬ地球環境の悪化を招くという状況になってしまっています。従って、家庭でも、職場でも、学校でも、出すゴミの量を減らす努力をすることが、地球環境の悪化を防ぐ、少なくとも悪化のスピードを緩めるという意味で非常に大切になってきていると思います。本校においても、ゴミの問題や、環境問題に関わって、遠足の際にはビニール袋を持参して、自分達の出すゴミは現地で捨てずに持ち帰ったり、また生徒会が中心になって、環境委員会を組織し、ゴミの問題や、環境の諸問題について考えていました。このよう

な問題の一つとして、学校から出すゴミの問題があります。本校には食堂があり、全生徒の約半数とかなりの教職員が、昼食時に食堂を利用しております。当然のことながら、食事の調理に伴つて出てくる野菜くずや食べ残しの食物、いわゆる生ゴミは、これまで他のゴミとあわせて回収してもゴミの始末も大変な仕事になってしまいます。これらのゴミは、それぞれの自治体が回収し、まとめて処理をしていますが、増え続けるゴミの処理が非常に難しくなってきています。それによってクリーンに保たなければならぬ地球環境の悪化を招くという状況になってしまっています。従って、家庭でも、職場でも、学校でも、出すゴミの量を減らす努力をすることが、地球環境の悪化を防ぐ、少なくとも悪化のスピードを緩めるという意味で非常に大切になってきていると思います。本校においても、ゴミの問題や、環境問題に関わって、遠足の際にはビニール袋を持参して、自分達の出すゴミは現地で捨てずに持ち帰ったり、また生徒会が中心になって、環境委員会を組織し、ゴミの問題や、環境の諸問題について考えていました。このよ

うな形で、処理をしています。勿論発生する生ゴミの量は、ゴミ全体の中では、決して多くはありませんが、それでも京都市で処理をしてもらわなければならぬゴミの量は確実に減らせることになると同時に、加えて良質の有機肥料が得られ、有効に活用できます。その意味で、生徒に「他人に奉仕できる人間」に育つてほしいと願っている学校として、今や全地球の将来に関わる環境問題への取り組みに、生徒達が真剣に目を向ける機会となる様望んでおります。(校長ゲエタン・ラバディ)



完成した堆肥。乾燥した木片のようだ
「毎日新聞社提供」

「聖体奉仕」愚感

西院教会 粟津弘之

聖体奉仕者という言葉は、比較的最近になって耳にする教会用語ではないかと思いますが、「使徒書」に記されていることからすると、裂かれたパンを分配する奉仕者は教会の初めから存在していたことが窺えます。二十世紀初頭の典礼運動、一九六三年に出された「典礼憲章」によって、典礼が神の民にしみ通るよう、国語化を始めさまざまな刷新が図られてきました。このような流れの中で信仰の中心であるミサと聖体に対する信頼を深め、信徒としてキリストの救いのみ業に積極的に参与できるように、京都教区では田中司教の時代に、聖体奉仕者が設けられるようになったと聞き及んでいます。奉仕者は司祭の推せんに基づき司教によって任命され、任期一年、更新は妨げないものとされています。役割は担当司祭と一致しています。役割は担当司祭と一致します。京都教区では本年四月に、集会司式者一九一名、聖体奉仕者二八名が任命されおり、日本の教会の殆どすべてに、

特に都市部の教会にはすべて奉仕者が存在している状況です。奉仕の内容は、集会祭儀の司式、ミサ中拝領者が多数の時、カリスを捧持すること、教会に来られない高齢者や病気の人を訪問してみ言葉を分かち合い、祈りをしてみし共にし、聖体をお授けすることで

す。

私が所属する西院教会には病人訪問グループ七名（うち男性二名）の奉仕者がおり、病気の方には二人で訪問活動を行い、二ヶ月毎に司祭の出席を得て、状況報告や意見交換を行っています。高齢者の中には、聖体を神父からしか受けない信念の方もあり、グループ会議で考え合うようなこともあります。三年前から病人訪問グループの一人として私が関わった人の中で、長年人工透析をされていたS氏と、ALSという難病に罹った姉の病中、特に帰天のとき司祭とコンタクトをとる中で、司祭を通じて与えられた主のみはからいことは生涯忘れられない感動的なものでした。

キリスト者は父なる神の招きを受け、仕えられる為ではなく仕えるために来られた主イエスに従つ

て、神と人とに仕えることを志す者だと思います。その奉仕の態様は種々様々であり、その価値判断は軽々にすべきものではないと思いませんが、救い主キリストの「全き愛」の形見である聖体、生命のパンに直接かかわる奉仕は、人間が為し得る最高の奉仕ではないかとの思いを禁じ得ません。

チッタゴン水害義援金報告

アジア交流委員会 小幡利夫

いつも私達の活動を支えてくださりありがとうございます。

昨年、チッタゴンを襲った水害

について委員会では緊急義援金を

送金しました。また教区交流の日

の取り組みとして、教区の皆様に

義援金の協力を呼びかけてまし

た。おかげ様を持ちまして今年二

月に、日本円で二百万円をチッタ

ゴン教区へ送金することが出来ま

した。この間の皆様のご協力に心

から感謝します。先日、チッタゴ

ン教区のパトリック・ロザリオ司

教員より感謝の手紙が届きました

ので皆様に報告したいと思います。

京都教区の皆様へ、

洪水の被害を受けた人々への皆

様からの寄付に心から感謝します。

信徒使徒職の一環として、このような道が拓かれたことは真に喜ばしく望ましいことであり、本来洗礼によってすべての信徒に与えられている司祭職の行使といわれる聖体奉仕を、一人でも多くの方が体験されることを願っております。感謝のうちに。

昨年の八月から九月の二ヶ月間バングラデシュを襲った洪水は貧しい人々をさらに激しく打ちました。しかし聖霊の年は、人々を奮いたたせ国土の崩壊の前に人々を更に結束させました。

洪水後の状況を考えると、最悪の状態は終わったと思います。人々はゆっくりとはですが以前の暮しに戻りつつあります。ですが今年は干ばつが来そうで多くの農民達が心配しています。皆様から寄付金は、四つの小教区で人々が仕事に復帰する助けになるよう使用されています。

もう一度、私は京都教区の皆様に心から感謝を伝えたいと思います。そして貧しい私達の教区へ関わりをもととする皆様の愛をいつも感謝の祈りの中で確信しています。

7月

8月

キャンプ情報

京都教区青少年委員会主催

申込電話0774(21)28
91、FAX(24)4329宇

◆教区中学生広島体験学習 8月
4日(水)～7日(土)宿泊先
広島市内の教会。4日は大津教会。

引率者=大瀬師。対象=中学生
(未信者も可能)。申込=各教会主
任司祭へ

◆教区中学生会夏の合宿 8月26
日(木)～28日(土)場所=綾
部教会(予定)。対象=中学生
(未信者も可能)。
以上一件の問合せ=青年センター
075(822)6246
◆教区高校生会夏の合宿 8月18
日(水)～20日(金)青谷教会。
対象=高校生(未信者も可能)。
引率者=福岡師

信仰教育委員会主催

円。募集人数=約十名・人數の都
合により、選考する場合もあります。
申込=075(822)62

◆神学生と共に過ごす合宿 8月
11日(水)15時～12日(木)16時。
唐崎メリノールハウス。対象=中
高生男子。参加費=三千円。
教区の神学生の奥村豊さん(伏見
教会出身)と小山太郎さん(西院
教会出身)と生活を共にしながら、
自らの生き方を深めて行く機会と
なればと希望して企画致しました。

教区青少年委員会、大阪教区青少
年委員会

申込電話0774(21)28
91、FAX(24)4329宇

◆津教会教会学校サマーキャンプ
7月24日(土)～25日(日)
10時。香良洲公園(一志郡香良洲
町)。但し、宿泊は研修館。目的=

①自然の中で、自然のやさしさ・
力づよさを感じながら、ともに祈
る。②仲間と一緒に食事を準備し
たり、遊んだりしていく中で協力
することや周りの人たちを思いや
ることを育てる。内容=第一日、ミ
サ、バーベキュー、水遊びまたは
ゲーム、研修館で食事、劇の練習。

◆草津教会侍者キャンプ 8月3
日(火)～5日(木)メリノーラ
ハウス。対象=小学4～6年生

◆西舞鶴教会日曜学校キャンプ
8月3日(火)～5日(木)。由
良海岸。対象=小学生

◆近隣小教区教会学校合同キャン
プ 主催=近隣小教区教会学校教
師会(京都南部地区南ブロックの
教会・山科教会)7月23日(金)

◆大和高田・西大和合同教会学校
キャンプ 7月30日(金)～31日
(土)信貴山明星学園校外学舎。

◆大和高田教会G.S.17団キャンプ
7月25日(日)～27日(火)。山
辺郡都祁村吐山青少年野外活動セ
ンター

◆奈良教会日曜学校キャンプ 7
月17日(土)～18日(日)柳生
青少年野外活動センター

◆大和高田・西大和合同教会学校
キャンプ 7月30日(金)～31日
(土)信貴山明星学園校外学舎。

◆大和高田教会G.S.17団キャンプ
7月25日(日)～27日(火)。山
辺郡都祁村吐山青少年野外活動セ
ンター

◆大和高田教会BS12団夏期野営
7月25日(日)～27日(火)。山
辺郡都祁村吐山青少年野外活動セ
ンター

日(日)。滋賀県愛郷の里
日(日)～15日(日)予定。伊吹山
夜間登山。対象=小学生～高校生。
主催=滋賀カトリック協議会

◆草津・大津・唐崎教会合同キャン
プ 7月24日(土)～25日(日)
草津教会。対象=幼稚園児～小学
生

◆青少年夏期練成会 8月14日
(土)～15日(日)予定。伊吹山
夜間登山。対象=小学生～高校生。
主催=滋賀カトリック協議会

◆宇治教会青年会キャンプ 8月
9日(月)～10日(火)笠取山
の家

京都教区青少年委員会主催

申込電話0774(21)28
91、FAX(24)4329宇申込電話0774(21)28
91、FAX(24)4329宇申込電話0774(21)28
91、FAX(24)4329宇

お
知
ら
せ

福音センターより

電話 075(822)7123

FAX 075(822)7020

◆西院カトリック会館での行事

▼書道教室 每金曜日13時30分。

月謝三千円

◆典礼委員会

教区委員会より

▼教会の祈りと聖体贊美式 4日

(日) 17時30分。河原町教会。17

修道会 16時30分。衣笠カルメル

▼聖歌奉仕者とオルガニストのための典礼研修会 20日(火)10時

30分(15時30分)。北白川教会。講師

◆小田賢一氏(国立音楽大学講師)。費用一千円(昼食は各自で用意)。連絡0774(21)2

8・9・1北村神父

◆正義と平和京都協議会

▼学習会 17日(土)19時。河原町会館6階。講師百万人署名運動京都連絡会・山岡さん(日本基督教団洛陽教会)。テーマ『平和を作りだすために、今、私たちに何ができる?』人間の尊厳をかけて、

◆三重県カトリック研宗館の行事

福音センターより

◆正義と平和京都協議会

▼学習会 17日(土)19時。河原町会館6階。講師百万人署名運動

京都連絡会・山岡さん(日本基督教団洛陽教会)。テーマ『平和を作りだすために、今、私たちに何ができる?』人間の尊嚴をかけて、

戦争への道を再び歩まぬように。
「戦争は人間の仕業です」(教皇平和アピール)。新ガイドライン

法案強行可決後、異様なかたちで関係法案を成立していく、日本を危機感をもって眺めているだけで良いのでしょうか。前の戦争と友好関係を取り戻そうとしてきました。再びアジアを敵に回したくありません。今、日本が置かれている状況を見据えて、「平和のために働く人は、さいわい」になります。

本を危機感をもって眺めているだけで良いのでしょうか。前の戦争

で、アジアを侵略した日本が、やつと友好関係を取り戻そうとしてきました。再びアジアを敵に回した

くありません。今、日本が置かれている状況を見据えて、「平和の

ために働く人は、さいわい」にな

ります。

本を危機感をもって眺めているだけで良いのでしょうか。前の戦争

で、アジアを侵略した日本が、やつと友好関係を取り戻そうとしてきました。再びアジアを敵に回した

くありません。今、日本が置かれている状況を見据えて、「平和の

ために働く人は、さいわい」にな

ります。

◆部落問題委員会

▼夏期合宿 8月7日(土)午後

5・8日(日)12時30分。テーマ

キリスト時代と差別問題。講師

前川修さん(部落史研究所研究員)、

三俣俊一さん(聖母女学院短期大

学)。現地学習・柳原銀行記念館、

元和殉教記念碑、他キリスト教ゆ

かりの地をめぐる。

キリストと部落問題、それぞ

れの専門分野からの発題とフィードワーク。ぜひ参加ください。

申込み075(223)229

1~8月2日までに

◆正義と平和京都協議会

▼学習会 17日(土)19時。河原町会館6階。講師百万人署名運動

京都連絡会・山岡さん(日本基督教団洛陽教会)。テーマ『平和を作りだすために、今、私たちに何ができる?』人間の尊嚴をかけて、

▼暮しの中のカウンセリング 第2、第4月曜日10時~12時30分 河原町教会。食事及び雑費300円

▼茶道教室 第2、第4木曜日13時 AAGループ 毎土曜日19時

奈良地区より

◆ボランティア養成上級講座・カウンセリング講座 16日(金)10時

廣岡洋子さん(全国カトリック・ボランティア連絡協議会会長)。

各参加費千円。主催カトリックボランティア奈良連絡会。後援

カリタス奈良。連絡0742(471298)西原エツ子

▼奈良カトリック協議会 18日

◆奈良カトリック協議会定例学習会 25日(日)14時~16時。大和郡山教会

◆正義と平和奈良協議会定例学習会 25日(日)14時~16時。大和郡山教会。テーマ滞日外国人について。発願者オヘル神父と

その活動グループ

◆在世フランスコ会京都兄弟会例会 18日(日)13時30分。フランシスコの家

◆カルメル山聖母莊嚴ミサ 16日

(金)15時。京都女子カルメル会

修道院

◆京都フランシスコ会京都兄弟会例会 18日(日)13時30分。フラン

シスコの家

◆レジオ・マリエコミチウム 18日

◆京都キリスト研究会定例研究会 25日(日)13時30分。河原町会館

◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会京都中央理事会 25日(日)14時。河原町会館

時30分。河原町教会

◆糠みその会 29日(木)19時45分。九条教会

京都南部地区より

◆朝祷会 每火曜日7時~8時。河原町教会。食事及び雑費300円

◆コロチエレステ練習日 第2木曜日(第4は休み)10時~12時。河原町教会地下ホール

◆カナの会結婚相談室開設・例会4日(日)13時受付、13時30分

◆信睦二金会 9日(金)10時~13時。西陣教会。会費五百円

◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会河原町協議会 11日(日)13時~15時。河原町会館

◆京都カトリック混声合唱団練習会11日(日)14時、24日(土)19時。河原町会館6階

◆京都フランシスコ会京都兄弟会例会 18日(日)13時30分。フランシスコの家

◆カルメル山聖母莊嚴ミサ 16日

(金)15時。京都女子カルメル会

修道院

◆在京フランシスコ会京都兄弟会例会 18日(日)13時30分。フランシスコの家

◆レジオ・マリエコミチウム 18日

◆京都キリスト研究会定例研究会 25日(日)13時30分。河原町会館

◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会京都中央理事会 25日(日)14時。河原町会館

時30分。河原町教会

◆糠みその会 29日(木)19時45分。九条教会

◆英知大学カトリック研究講座

大阪教区より

◆宇治カルメル聖テレジア修道院
 黙想会の案内▼聖書深読默想会
 (一般対象) 10日(土) 夕食(11日)
 日(日) 午後。指導者=奥村一郎
 (木) 10時~16時。指導者=中川
 博道師▼三泊四日の黙想(一般対象)
 23日(金) 17時~26日(月)
 昼食。テーマ=日常生活での神とのかかわり。指導者=伊従信子さん(ノートルダム・ド・ヴィ)▼修道女
 の黙想 27日(火) 17時~8月
 5日(木) 朝食。指導者=アロイジオ師。連絡 0774(32)7
 016

◆ジョン・メイン「クリスチャン瞑想会」への参加募集
 クト会の故ジョン・メイン神父が約二十年前に始めたクリスチヤン瞑想会は、静止と沈黙の内に祈るもので、この瞑想の集いをメイン神父の親友であったアウガスティン教授の指導で、毎月一回北白川教会で行う予定です。

参加御希望の方は、075(781)4858 アウガスティン教授、075(781)5884 ナドウ

神父まで御連絡下さい。

075(662)3971

▼京都市東九条在宅介護支援センタ(24時間体制)

075(662)3971

◆宇治カルメル聖テレジア修道院

黙想会の案内▼聖書深読默想会

(一般対象) 10日(土) 夕食(11日)

日(日) 午後。指導者=奥村一郎

(木) 10時~16時。指導者=中川

博道師▼三泊四日の黙想(一般対象)

23日(金) 17時~26日(月)

昼食。テーマ=日常生活での神とのかかわり。指導者=伊従信子さん(ノートルダム・ド・ヴィ)▼修道女

の黙想 27日(火) 17時~8月

5日(木) 朝食。指導者=アロイジオ師。連絡 0774(32)7
 016

◆日本カトリック研修センター

連絡 052(831)5037

◆旧約全編を見る詩編 23(8日)

(木) ~11日(日)。指導=松田清

四朗。三万五千五百円

◆素晴らしいのちと性 23日(金) ~26日(月)。指導=カトリック

クファミリーセンター(ライル師)。三万五千五百円

◆「一万匹の儀運動」基金報告
 累計 22,158,940円
 加入者 875名(5月17日現在)

◆電話番号情報コーナー
 ▼いのちの電話(相談窓口)

◆ジョン・メイン「クリスチヤン瞑想会」への参加募集
 クト会の故ジョン・メイン神父が約二十年前に始めたクリスチヤン瞑想会は、静止と沈黙の内に祈るもので、この瞑想の集いをメイン神父の親友であったアウガスティン教授の指導で、毎月一回北白川教会で行う予定です。

参加御希望の方は、075(781)4858 アウガスティン教授、075(781)5884 ナドウ

神父まで御連絡下さい。

◆宇治カルメル聖テレジア修道院

黙想会の案内▼聖書深読默想会

(一般対象) 10日(土) 夕食(11日)

日(日) 午後。指導者=奥村一郎

(木) 10時~16時。指導者=中川

博道師▼三泊四日の黙想(一般対象)

23日(金) 17時~26日(月)

昼食。テーマ=日常生活での神とのかかわり。指導者=伊従信子さん(ノートルダム・ド・ヴィ)▼修道女

の黙想 27日(火) 17時~8月

5日(木) 朝食。指導者=アロイジオ師。連絡 0774(32)7
 016

◆日本カトリック研修センター

連絡 052(831)5037

◆旧約全編を見る詩編 23(8日)

(木) ~11日(日)。指導=松田清

四朗。三万五千五百円

◆素晴らしいのちと性 23日(金) ~26日(月)。指導=カトリック

クファミリーセンター(ライル師)。三万五千五百円

京都教区・外国語ミサ

英語ミサ (ENGLISH)

- KAWARAMACHI(Chapel)
河原町教会(地下聖堂)
Every Sun. 3 p.m.
- FRANCISCAN HOUSE
Every Wed. 4 p.m.
- NISHI MAIZURU CHURCH
Every First Sun. 3 p.m.
- KUSATSU CHURCH
Every Fourth Sun. 2 p.m.
- NARA CHURCH
Every Last Sun. 2 p.m.
- YAGI CHURCH
Every Third Sun. 2 p.m.
- KORIYAMA CHURCH
Every Wed. 3.30 p.m.
- TSU CHURCH
Every Third Sun. 2 p.m.
- YOKKAICHI CHURCH
Every Third Sun. 1 p.m.
- SUZUKA CHURCH
Every Fourth Sun. 2 p.m.
- KAMEYAMA CHURCH
Every Second Sun. 9 a.m.

韓国語ミサ (한국어 미사)

- 京都コリアン・カトリックセンター
第1日曜日 午前10時

スペイン語ミサ (ESPAÑOL)

- Iglesia de FUSHIMI
伏見教会
Segundo Domingo del mes 2 p.m. 第2日曜日、PM 2:00

Iglesia de KUSATSU

Tercer Domingo del mes 2.30 p.m. 第3日曜日、PM 2:30

Iglesia de NAGAHAMA

長浜教会

Cuarto Domingo del mes 2 p.m. 第4日曜日、PM 2:00

Iglesia De SUZUKA

鈴鹿教会

Segundo y Tercer Domingo del mes 2 p.m.

第2・第3日曜日、PM 2:00

Iglesia de KAMEYAMA

亀山教会

Cuarto Domingo del mes 9 a.m. 第4日曜日、AM 9:00

Iglesia de TSU

津教会

Cuarto Domingo del mes 2 p.m. 第4日曜日、PM 2:00

Iglesia de YAGI

大和八木教会

Primer Domingo del mes 2 p.m. 第1日曜日、PM 2:00

Iglesia de NISHI YAMATO

西大和教会

Segundo Domingo del mes 3 p.m. 第2日曜日、PM 3:00

Iglesia de YAKKAICHI

四日市教会

Cuarto Domingo del mes 12 a.m. 第4日曜日、AM 12:00

Iglesia de UENO

上野教会

Tercer Sabado del mes 8 p.m. 第3土曜日、PM 8:00

ポルトガル語ミサ (PORTUGUES)

- Igreja paroquial do KUSATSU
Segundo Domingo do mes 2 p.m. 第2日曜日、PM 2:00

- Igreja paroquial do YOKKAICHI
Segundo Domingo do mes 3 p.m. 第2日曜日、PM 3:00

- Igreja paroquial do SUZUKA
Cuarto Domingo del mes 12 a.m. 第4日曜日、AM 12:00

- Igreja paroquial do TSU
Tercer Sabado del mes 8 p.m. 第3土曜日、PM 8:00

毎週日曜日、PM 6:00

- Igreja paroquial do KAMEYAMA
Primer Domingo do mes 9 a.m. 第1日曜日、AM 9:00

- Igreja paroquial do TSU
Cuarto Domingo do mes 4 p.m. 第4日曜日、PM 4:00

- Igreja paroquial do SUZUKA
Todos los Domingos do mes 6 p.m.
毎週日曜日、PM 6:00

- Igreja paroquial do TSU
Cuarto Domingo do mes 4 p.m. 第4日曜日、PM 4:00

- Igreja paroquial do TSU
Cuarto Domingo do mes 4 p.m. 第4日曜日、PM 4:00

大塚司教の

7月のスケジュール

- 1日(木) 正平協事務局会議
 1日(木) 日韓歴史勉強会
 3日(土) 精華聖マリア幼稚園訪問
 3日(土) 結婚講座(福音センター)
 3日(土) 唐崎教会信徒会
 4日(日) カトリック京都医師会例会(河原町教会) 14時~17時
 6日(火) 大阪教区と合同顧問会(玉造) 15時
 7日(水) ~8日(木) 東京カトリック神学院静修
 11日(日) ~13日(火) 大阪管区事務局長会議
 15日(木) 司教顧問会 10時
 17日(土) 松浦悟郎大阪補佐司教叙階式(玉造) 14時
 20日(火) Y.B.U.のハヤット師司祭金祝ミサ(河原町教会) 14時
 27日(火) ~28日(水) 大阪管区司教会議(広島司教館)

◆研修休暇(サバティカル)中の

柳本昭師の住まい(二千年三月まで)

で、長野県駒ヶ根市北町9の1カトリック駒ヶ根教会内。携帯電話

090-(9048)0360FA X0265(83)4549 柳本

神父宛と明記して下さい。

◆東ティモールに水牛をおくる会

よりお知らせ

▼水牛絵はがきカレンダー販売 東ティモールに水牛をおくる会の来年度版絵はがきカレンダーが完成しました。卓上式で、使用後は十二枚の絵はがきとして再利用できます。一部八百円

▼会員を募集しています

私たち東ティモールの惨状を知り、水牛とともに希望をおくろうとの会を発足させ活動を続けています。東ティモールでは昨年來独立の兆しが見えていましたが、独立すればなおのこと、海外からの帰還難民や住民の経済的自立に向けて、水牛の果たす役割はますます大きくなるだろうと予測されます。一口千円で何口でも結構です。郵便振替01050の2の68433「東ティモールに水牛をおくる会」。電話075(8

22)6246、FAX075(812)6685 青年センター気付

15日(木) 司教顧問会 10時
 17日(土) 松浦悟郎大阪補佐司教叙階式(玉造) 14時
 20日(火) Y.B.U.のハヤット師司祭金祝ミサ(河原町教会) 14時
 27日(火) ~28日(水) 大阪管区司教会議(広島司教館)

◆編集後記 お知らせに載せたい情報は、8月号でしたら6月28日までに、9月号でしたら8月2日までに、FAX077(527)6800に

【中学生広島平和巡礼】

中学生のみなさん、広島へ行きましたか?今年の夏、8月4日から7日まで、教区のほかの仲間とともに広島へ行きませんか。

教皇さまは、「広島を考えることは、平和について考えることです」とおっしゃったことがあります。広島を考えることには、自分が生きるということと、ほかの人が生きるということと共有する意味があります。そのことは広島に行く誰しもが、肌に感じ、問題にせざるを得ないものです。

言いかえれば、私たちがいつも誰かといつしょに生活しているという当たり前のことが、かつて広島では存在することを許されなくなつたことがあります。そのことについて実際に訪ねる廣島は、私たちに対して、時には言葉多く、時には言葉少なく、語りかけて来ます。語りかけられた時、あなたはきっと広島に對して、何かを答えようと考えていることでしょう。

参加を希望される方は、各教会または青年センター(075・822・6246)までお問い合わせ下さい。

【高校生会夏合宿】

皆さん高校生会を御存知ですか?

高校生会とは、高校生が集まり、自分達で合宿をつくりあげるというものです。例えば今年の春合宿では、一年生の歓迎会や、自分達でご飯を作ったりしました。このようなことをして、周りの人達と親しくなって行き、色々な人達との「輪」を作ります。近いところでは「京都」遠いところからは「神奈川」から来ています。もしこの記事を見て行ってみようかなと思った人は、ぜひ参加してみてください。みんなで自分達の高

校生会をつくりましょう。

【中学生会夏合宿】 中学生会を知っている人、こんなにちは。これを見るまで知らなかつた人、はじめまして。中学生会とは?京都教区を主な活動地域として、春・夏・冬の三回合宿を行っています。中学生会と言うだけあって対象は、夏がやつてくる。今年も暑い暑い夏がやつてくる。今年は8月26日~28日まで綾部でやる予定です。問い合わせは、青年センターまでどうぞ。